

防災への誓い新たに

館林地区消防組合出初め式

館林地区消防組合消防隊出初め式が1月15日、管内の消防団員や館林消防署員ら約900人が参加して、館林市役所東広場で盛大に行われ、防災への誓いを新たにしました。

午前10時半から始まった式では、本町からは、明和消防団をはじめ婦人消防隊、鳶職組合若鳶会員らが参加。消防組合管理者から「災害は、忘れたところにやってきます。けして油断することなく、住民の尊い生命・財産等を守るために、なお一層の努力をお願いします」とあいさつし、団員らを激励しました。

続いて行われた、鳶職組合の梯子乗り演技では、高さ6mを超える梯子の上でスリルある演技を披露し観客の目を釘付けにしていました。

式のクライマックスは、はしご車や各消防車による一斉放水。合図とともに放水準備が開始され、本番さながらの素早い作業で速やかに放水を行い、消防団員の日ごろの訓練の成果を観客に披露して会場からは大きな拍手が送られ、式は最高潮に達しました。

市役所前の道路で行われた分列行進は、各消防団員らによる隊列を組んでの威風堂々の行進を披露し、会場に訪れた大勢の観客に防火意識の高揚を呼びかけました。



上 消防車による一斉放水
左 威風堂々の分列行進



調印を行う家族の皆さん

家族経営協定で魅力ある農業を

家族経営協定調印式

1月12日、役場会議室で町内10組の農家が家族経営協定調印式を行いました。

家族経営協定は、我が家の経営・生活に関するルールづくりを家族の中で充分話し合い、女性や若い農業者等が意欲を持って取り組めるような農業経営を目指すのが目的。調印式では、町農業委員長、館林地区農業指導センター長が立会人となり、協定書に署名・調印を行い協定内容をお互い確認しました。

無病息災を願う

矢島地区どんと焼き

矢島地区の冬の風物詩「どんと焼き」が1月22日、同地区の水田で行われ、大勢の町民が1年間の無病息災や五穀豊穡を祈りました。

青竹に稲藁や正月飾り、だるまを積み上げて作られたやぐらに午後6時に区長さんの合図で点火。会場に訪れた町民には、豚汁などが振る舞われました。地区の役員さんは「地域住民のふれあいの場となる伝統行事は次代に残したいですね」と話していました。



勢いよく燃え上がる炎